

千葉大生が運営のNPO  
地域限定SNS開設  
商店街活性化にも活用

【千葉】千葉大生が運営する特定非営利活動法人(NPO法人)「トライワープ(千葉市、虎岩雅明代表理事)は、同大西千葉キャンパス周辺地域を対象に限定したソーシャル・ネットワークキ

ング・サービス(SNS)を開設した。学生と地域の交流を促し、学生向けの求人や不動産賃貸などの広告媒体としても売り込む。学生主体の地域限定SNSは珍しいとい

う。一日に正式稼働したSNSの名称は「あみっぴい」。既存会員からの招待が入会条件で、会費は無料。SNS限定で公開できる日記の開設・閲覧や、会員間の趣味や関心に基づく交流用の「コミュニティ」作成などの機能も活用できる。

入会時に実名などの登録を義務付け、SNS内で表示する顔写真の登録も推奨。ネット上の無責任な言行の原因となる匿名性の排除を徹底する。地域限定のSNSは学生と商店街などの接点を作り、学生の地域貢献や各商店の集客につなげられる利点がある。学生中心の会員属性からターゲットを絞った広告の効果も見込める。一月から地元商店主など約四十人の会員で稼働し、二月からは学生も加え会員数は百人に増加。今後、千葉大の新入生を囲い込みながら二万人まで増やすのが目標だ。

トライワープは二〇〇四年設立。千葉大周辺のパソコン講習会実施などのほか、地域交流イベントも手掛ける。

「西千葉」サイトで交流

千葉大生ら開設 商店・住民も活用

千葉大学のある街「西千葉」地域限定の交流サイトがインターネット上に誕生し、人気を集めている。千葉大生らで作るNPOが2月に立ち上げた。口コミで広がり、会員は650人を超す。大

学学生と地域の店、街に住むおじさん、おばさんたちが世代を超えて交流を

楽しむ場になっている。インターネット上で、日記などを限られたメンバーだけに公開できる「ソーシャル・ネットワークキング・サービス(SNS)」の地域限定版。JR西千葉駅を中心とした「西千葉」地域に住む人や「西千葉」に関心がある人が参加できる。サ

イトの名前は「あみっぴい」。地域でパソコン指導などを手がける千葉大生中心のNPO「トライワープ(虎岩雅明代表)が今年2月に開設した。大手のSNS「ミクシイ」などと同じ仕組みで、会員からの招待を受けて登録するのが条件。会員の世代別構成では、

10〜20代で計577人と大半を占めるが、一方で40〜70代でも64人の登録がある。会員はサイトの中で日記を公開・閲覧したり、

友人を捜し出してメッセージを送ったり、サークルなどのグループや共通の趣味を持つ人たちで「コミュニティ」ページを作ったりもできる。

地域の店のおすすめメニューなど、地域限定ならではの話題も登場。店の主人と学生客など、世代を超えて交流する。サイトでの交流でライブイ



ログインすると、自分専用のページが開く

ベントを知り、初めて参加したという主婦も。アクセス数はこれまでに34万ページビューを超えた。会員が地域に限定されている特性から、広告掲載の効果も見込めそうという。虎岩代表は「学生と地域の人の世代を超えた交流を広げること、街を元気にしたい」と話している。

サイトについての問い合わせはトライワープ(☎043・207・1040)へ。